

レンタルディング®で時代を拓く

AKTIO

AKTIO

December
No.27

Communication Magazine

■ AKTIO TOPICS

新商品レンタルのご紹介

- ・「後付け衝突軽減システム」搭載コンバインドローラ
- ・林業専用四駆「スタンションダンプ2.7t 高床4WD」
- ・クラウドカメラ AKTICAM

「アクティオ大阪DLセンター」
2022年度グッドデザイン賞 受賞

■ AKTIO SDGs

脱炭素社会の実現に向けた先進の取り組み

地球に優しい「バイオディーゼル燃料」の活用

■ AKTIO ACTIVITIES

若手の育成や世界へ挑戦する機会を創出

ビーチバレーボールを通して若者のチャレンジを応援!

KEY PERSON

に聞く

クレーン事業部発足から16年。
社会の発展を支える

クレーンの 新たな可能性に 迫る!



KEY PERSON

に聞く

クレーン事業部発足から16年。

社会の発展を支えるクレーンの新たな可能性に迫る!

AKTIOのクレーン事業部は2006年に始まり、オフィスビル、マンション、大規模商業施設や複合施設の再開発など社会の発展に欠かせないさまざまな建築現場にタワークレーンを送り出してきた。中にはお客様の要望に応えたオリジナル商品も含まれ、現在では他社との共同開発でタワークレーンが遠隔操作できる「TawaRemo」や、風力発電建設用タワークレーンの開発なども行っている。新たな商品、関連商品、海外の市場開拓など次々と新たな挑戦を続けるクレーン事業部のこれからのについて、グループ会社との連携の要にもなっている小川剛上席執行役員 クレーン事業部長に話を聞いた。

「AKTIOに入社した当時の業務について教えてください。」

新宿区、渋谷区、港区、文京区、台東区など広範囲のエリアを担当する東京営業所に配属となりました。私は江戸川区、浦安市などを担当し、荒川横断橋やディズニールンド等の大型プロジェクト現場を経験しました。入社間もなく営業所近くで大型現場のお知らせ看板を見かけ日参したところ、AKTIOの原点である通称「番ポンプ（2時100V）」の注文を獲得。それが私の初受注です。所長が「一緒になって喜んでくれて、自ら配達までしてくださいました。江戸川ポンプ工場に残っています。江戸川ポンプ工場が創業当時から整備業務を担ってきた年配の先輩方の仕事を目の当たりにしたり、また、地下鉄工事や超高層建築など土木・建築含めてさまざまな現場経験を積んだこの時期に、AKTIOイズムを吸収したと感じます。どんなに困難な状況でもまずはやってみる、考えすぎて行動できないよりも「やって突破しよう」という精神。AKTIOには今も昔もそうだった意気込みを持つ仲間が多いと思います。

「その後、千葉支店の支店長を経てクレーン事業部に至るまではどのような経緯だったのでしょうか。」

千葉支店では初の支店長業務を経験し、仲間を支えられ、これからだ！と思っていたところに新潟県中越地震が発生し



上席執行役員 クレーン事業部長

小川 剛

TAKESHI OGAWA

アパレルメーカーでの営業職を経て1990年新電気株式会社（現：AKTIO）に入社。全く違う業界からの転職でも「お客様に自社の商品をPRすることに違いはない」と入社直後から積極的に営業活動を開始。着実にキャリアを積み、現在もその当時から一緒に切磋琢磨した仲間と共に新たな商品を世に送り出し、常に新しい取り組みへの挑戦を続けている。

北陸支店に転勤となりました。他支店から多くの応援があり投光機や重機を中心にあらゆる機を集めて復旧・復興工事の対応をしました。当社の決断の速さ、対応の速さで復旧工事に貢献できたこの経験から、仲間意識の強さ、「人を大事に機械を大事に」と常々小沼会長が言っていたこと、そういった考えがどの支店にも深く根付いていることを実感しました。この復興工事が落ち着いてきた頃、クレーン事業部への異動の話がありました。しかしその異動話の翌日、社員旅行の帰りに新潟県中越沖地震が発生。帰路のサービスエリアでの出来事だったため、所長たちは全員そこから直接被災地の柏崎営業所に入り私服のまま対応にあたりました。他社よりいち早く被災地のサポートができたのはAKTIOのDNAのなせる業だと感じます。

「クレーン事業部に異動してからはどうでしたか？」

当社はその当時、水中ポンプや発電機などがメイン商品でありタワークレーンには長けていませんでした。参入のきっかけは大手建設会社から機械を購入したことです。建設会社の中で自社で機械を保有するよりレンタル会社にシフトしようという流れが広がり、当社もその流れに乗ってある建設会社からタワークレーンを購入したのです。数

名の専門的な知識がある方に教わりながらスタートしましたが、リーマンショック後の民間建築工事の冷え込みもありせっかく購入したタワークレーンはほとんど案件がなくなってしまうなど、当初はいろいろと大変でした。そんな状況から大きく流れが変わったのは、事業部の仲間の存在。ネットワークのなかった関西方面でクレーンを専門にやっていた方をはじめ、徐々にタワークレーンに知見のある人材が集まってくれたのです。タイミングが良かったとしか言いようがないのですが、メンバーが充実してきて、これはいい！という空気になりました。リーマンショックの余波で3年くらいは苦境でしたが次第にメンバーが集まり強いチームになりました。



▶



気が当社にはあり、横のつながりも深く、そのつながりの中で生み出されたものが多いと感じます。これからもアクティオグループのつながりの相乗効果で良い流れを作っていきたいと思っています。営業の後輩に言ってきたのですが、今日現場に行つて次の訪問は二週間後くらいにしようと思つたら、その二週間後の予定を今すぐ手帳に書き込むこと。先の予定を決めてしまえばその通りに動くでしょう。予定を決めて、自分を鼓舞する。それも良い流れを作り出すコツなのではないかと思つています。

クレーン事業部の注目商品

各現場で大活躍!
狭いケーソン現場で注目の「アシンメトリー式排土クレーン」

現場状況をヒアリングし、クレーン設置から解体までの計画図面作成や構造計算・強度計算まで行うAKTIOのクレーン事業部。そんなクレーン事業部だからこそ生まれた、お客様の要望を取り入れて開発した「アシンメトリー式排土クレーン」は、ニューマチックケーソン工法*で使用する排土用の設備で、中でもAKTIOの扱う「ASシリーズ」は、荷を移動させるためのジブを、マストの左右いずれにも取り付け可能であることが最大の特長だ。これにより、移動した吊荷はジブ先端よりマスト横を通して後方へ移動させることができ、効率の良い作業スペースおよび動線の確保が可能なのが評価されている。

*あらかじめケーソン下部に作業室を設け、その中に圧縮空気を送り込んで気圧の高い状態にし、この気圧によって水や泥の流入を防止して掘削作業を行い、所定の深さまでケーソンを沈設する工法。



※左の2基が「アシンメトリー式排土クレーン」

確かな機能性で注目!
タワークレーンの遠隔操作が可能になる「TawaRemo」

竹中工務店、鹿島建設、AKTIOが共同で開発した「TawaRemo(タワリモ)」はタワークレーンの遠隔操作ができるシステム。タワークレーンのオペレータは作業時にはビルと同じ高さまでしごを使って昇降する必要があり、また一度運転席に着いてしまうと作業開始から終了まで高所にほぼ一日中拘束されることになる。それがTawaRemoを用いればクレーンに上らずに機上と同じモニター画面で遠隔操作が可能となる。

オペレータの負担軽減に	高齢作業員の継続従事、女性の就業にも期待が持てる
若手オペレータの指導に	ベテランの作業をすぐ近くで見ることができる
人員不足の解消に	2基のタワークレーンを1人で操作することも可能



【専用コックピット】
タワークレーンの運転席回りに設置された複数台のカメラによって撮影された映像が、基地局を経由して地上(または遠隔地)にあるコックピットに送信され、モニター画面に映し出される。また、荷重などの動作信号及び異常信号を閲覧する専用モニターも設置している。

AKTIOのクレーンの特長や独自性はどんなところでしょうか。

象徴的なのはアシンメトリークレーンです。クレーン事業部発足当時、エンジニアリング事業部(※1)よりケーソン向けの排土用クレーンができないかと相談があり、お客様からの要望を取り入れオリジナルで作ることにしました。現在9台ありますが稼働率は非常に高いです。お客様の意見を可能な限り反映したもので、喜んでもらえること我々も嬉しくなりますね。*詳しくは左記クレーン事業部の注目商品をご覧ください。

私たちクレーン事業部は技術的な計画業務の時間がかります。通常の現場でも組み立て、クライミング、指導員の手配、最後の解体までをサポートするため、汎用品のレンタルとは違い、設置する場所の検討、基礎計画、解体時のことまでも想定して事前に複数回の打ち合わせが発生します。ですので、技術をサポートする優秀な社員がいることも強みです。

また、機械の優位性も挙げられます。事業部の保有機は大型機がメインですがコンパクトで自立性が高く、壁つなぎの段数も少なくポルトの種類も少ない。そのため組立解体日数も少なく済みます。運送コストも抑えられるため業界内でも好評です。

さらに、海外での展開も注目していただいたポイントです。タイでのクレーン事業はほとんどが中国製の中、ごう戦うかが重要でした。タイは地震がないため、同じ定格荷重でも日本とは違い華奢なクレーンが選ばれているのです。単価も非常に安い。各国の環境や規制、市場単価等から日本製では中国

製に太刀打ちできないことを学びました。当初メーカーを巻き込み中古クレーン2基を海外仕様に変更輸出し試験運用していましたが、今ではアクティオタイランドで88基を保有し運用しています。海外でも超高層建築の案件が増えているようなのでクレーン事業部が技術支援をしていき、現地のクレーン会社に対応できない案件などを担うことで差別化が図れると考えています。



現在、力を入れているプロジェクトはどんなものがありますか？

電力業界で使用されるクレーンです。再生エネルギーが注目される中、2024年に風力用タワークレーンの導入を予定しています。産業機械事業部(※2)と共に、建設以外の陸上風力建設用タワークレーンおよび鉄塔建設用工事向けのタワークレーンに注力していきたいと考えています。

タワークレーン事業は波が大きく市場環境に大きく左右されます。2020年、2021年は東京オリンピックの影響もあり大きく落ち込みました。建築以外の新規需要を目指す必要が急務と感じていたのでこのチャンスを見逃さず進めていきたいと思っています。

現在、陸上風力発電設備はオールテレワークレーンで施工していますが全国に20基程度と台数が限られています。風力発電で電力を稼ぐにはブレード(羽)を長くしなければならず今以上に高さが必要になりますが、現在のオールテレワークレーンの能力では限界があります。それを、タワークレーンの施工で可能にします。高さを稼ぎ、さらに設置面積が少なく済むメリットの大きなクレーンです。

また送電線の鉄塔建設でもタワークレーンが使用されます。ここ10年程度鉄塔建設は少なかったのですが今後新規設置、建替えが積極的に行われます。鉄塔建設用タワークレーンは今まで施工会社が保有していましたが経年化が進んでいるようで、お客様へのヒアリングで「レンタルできれば使用したい」との声が多く上がっています。

その他クレーン事業部が今後チャレンジしてみたいことを教えてください。

グループ会社と相乗効果のある事業をやりたいと考えています。昨年末、アクティオグループに仲間入りした建機サービスは主にマンション建築用のタワークレーン、エレベーターのレンタル会社です。このクラス



のタワークレーンおよびエレベーターは事業部では保有がなかったため対応できずにいました。グループとなったメリットは非常に大きいと感じます。ただ現在の保有数は既存のお客様対応に適した台数でありAKTIOの営業所からの注文に対し完全に対応できず、残念ですがお断りも発生しています。伸びしろがありますのでまずは購入をかけ成長を目指していきたいと思っています。

また橋形クレーン、天井クレーンに特化している日本メンテナンスにはAKTIOの工場や営業所設備等、社内から多くの需要があります。また、ゼネコンは主に土木現場から引き合いをいただいております、お客様の幅が広がりました。新たな仲間と共にグループメリットが最大限発揮できるように頑張りたいと思います。*詳しくはP7のグループ会社紹介をご覧ください。

私はAKTIOに入社して以来、常にのびのびとやらせてもらってきました。そういう空

※1 エンジニアリング事業部…新商品開発に伴う機械・電気・システムの設計をはじめ、地下鉄、道路、トンネルなどのインフラ工事や有害物質除去の工事に関わるプラント設計及び設置工事を中心に行う。
※2 産業機械事業部…プラント関連のメンテナンス作業に関するレンタルを主軸に、高速メンテナンス分野、林業分野の他にも当社では新規となるビルメンテナンスロボットなど幅広い分野で商品提案している。

NM 日本メンテナンス株式会社



日本メンテナンス株式会社は1973年に設立し、クレーンの設計、製造、レンタル、中古販売を中心にさまざまなサービスを提供している。橋形クレーン、天井クレーンなど各種取り揃え、低騒音やシールド工事用など特殊クレーンのラインナップも豊富だ。社員の実験スキルを高め安全な作業を行い、より良いサービスを提供するべく努力を続けている。

会社名	日本メンテナンス株式会社
本社所在地	〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名3495-2
設立	1973年1月
TEL	042-785-2112
FAX	042-785-2113
従業員数	22名(2022年9月末現在)
事業拠点数	本社 工場1か所

KENKI 建機サービス株式会社



建機サービス株式会社は1976年に設立し、現在では大阪本社をはじめ東京・九州・千葉・奈良と6つの拠点をもち、建設用タワークレーン・ロングスパンエレベーター等のレンタルやメンテナンス、販売を手掛けている。揚重機械のレンタルを通して、地域社会に貢献することを経営理念に掲げ、初心を忘れず、誠実に努力することをモットーに、お客様の困り事を解消するべく事業を展開している。

会社名	建機サービス株式会社
本社所在地	〒552-0013 大阪府大阪市港区福崎2丁目1番62号
設立	1976年10月
TEL	06-6572-7760
FAX	06-6574-1872
従業員数	50名(2022年10月末現在)
事業拠点数	本社 営業所3か所 機材センター4か所

クレーン関連商品

安全面の強化のため、関連商品を積極的に導入!



商品コード:DLP 30000 001

●**スカイジャスター**
長さ12m、幅1m、重量10t程度の吊荷の旋回を遠隔で制御できる装置。コンクリート板など風の影響を受けやすい吊荷も安定して作業することが可能。吊荷の挟まれ災害、墜落リスクを大きく低減する。
NETIS登録番号:KT-190030-A



商品コード:DLP A1000 001

●**アクアジャスター**
可視光通信による水中無線操作で、水中の吊荷を遠隔で自在に水平回転できる装置。潜水士が直接吊荷に触れることなく、任意に回転し、位置決め作業ができるため、挟まれ・巻き込まれ災害を防止し、生産性・安全性が飛躍的に向上する。



商品コード:DLY 00500 001

●**玉外し装置**
玉外し作業を離れた場所から可能にする機械装置。吊荷からワイヤーおよびフックを外す作業を据付場所から離れた場所で安全に行うことができる。水中でも使用可能なため、河川・護岸工事でブロックなどを設置する際も活躍する。
NETIS登録番号:HKK-170002-VE



商品コード:DLV 20000 001

●**ワイヤレスウォッチャー**
オペレータからの視界外の吊荷や作業員の状況確認を鮮明に映し出し安全を守る無線式カメラ。カメラ・電源ケーブルが不要で、小型軽量。取り扱いやすく、受信機一体型のためクレーン間の移設も簡単に行うことができる。
NETIS登録番号:QS-190012-A

クライミングクレーン



AKTIOでは、29機種のクライミングクレーンを保有している。軽量で組み立てピースが少ないながらも、高自立でコンパクトな回転フレームが特徴のものなど、操作性に優れた商品を多く取り扱っている。フロアクライミング可能な機種も多数。

橋形クレーン(門型クレーン)



クレーン設備のない作業現場で重量物の上げ下ろしや移動のために使うクレーン。脚の間隔を広げ、荷をスムーズに通越せるようにしているAKTIO標準機は評判が高い。お客様の要望に応じて製作・販売、およびレンタルを行っている。

天井クレーン



建屋の両側の壁に沿って設けられたランウェイ上を走行するクレーン。クラフトローリー式は機械工場における機械や部品の運搬などに用いられ、ホイスト式は一般荷役から機械の組み立て、発電機等の分解など多種多様な用途に適している。

**AKTIOの
クレーン
ラインナップ**

クライミングクレーンをはじめ、ジブクレーンや解体用クレーンなど大型クレーンを89基保有。その他、橋形クレーンや天井クレーンなど幅広く取り扱っている。

クレーンレンタルカタログ▶



新商品レンタルのご紹介

2022年6月レンタル開始

機能性と安全性に配慮した林業専用車両

林業専用四駆「スタンションダンプ2.7t 高床4WD」

商品コード:SAH E0FA0 001

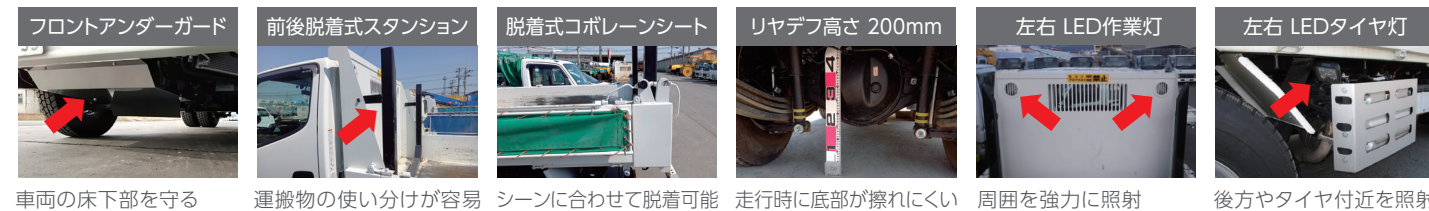
商品の詳細はこちら▶



AKTIOはグループ企業の株式会社東海大阪レンタルと共同で、林業に特化した四駆ダンプ「スタンションダンプ2.7t 高床4WD」を開発した。

現在、林業業界では深刻な人手不足から、作業の効率化が求められている。今回レンタルを開始した四駆ダンプは、LSD*1を搭載した低速デフ*2仕様で険しい山道でも効率的に木材の搬出ができ、荷台の高さが885mmと低く低重心のため、狭い山道でも安全走行が可能。また、最小回転半径5.2mと小回りが利き、明かりのない山や森の中でも安全に作業できるように、荷台やタイヤ周囲にLEDライトを装備した。

※1 リミテッドスリップデフ(登坂空荷走行時にヘアピンにて後輪空転しにくい装置)。
 ※2 登坂力とエンジンブレーキを強化できる。



2022年9月レンタル開始

さまざまなシステムと連動可能なAKTIOオリジナルのクラウドソフトウェア搭載

「クラウドカメラ AKTICAM」

商品コード:R6S 10003 001

商品の詳細はこちら▶



「クラウドカメラ AKTICAM」は、180度のパノラマ高画質映像の撮影が可能で、防水・防塵・耐衝撃性に優れ、さまざまな環境に適応する監視カメラ。VIVOTEK社製のカメラに、AKTIO独自のクラウドソフトウェアを搭載している。撮影した映像データをクラウド上で確認できるだけでなく、オリジナルのクラウドソフトウェアのため、稼働現場の状況把握など、お客様の独自管理システムとの連動も可能で、建設現場内の安全性の向上や防犯力を高める。

●カメラの特長

1. 180度パノラマ高解像度映像
2. IP66防水・防塵、IK10耐衝撃性
3. 20mまで照射可能な赤外線照射器を搭載しているため 昼夜撮影可能



●クラウドソフトウェアの特長

1. オリジナルのクラウドソフトウェアのため、さまざまなシステムとの連動が可能
2. カメラ映像を2週間保存、設置位置の把握、録画映像のダウンロード(タイムラプス機能付)が可能



2022年10月レンタル開始

AKTIOオリジナルの安全システム「自動制御」で運転者を支援

「後付け衝突軽減システム」搭載コンバインドローラ

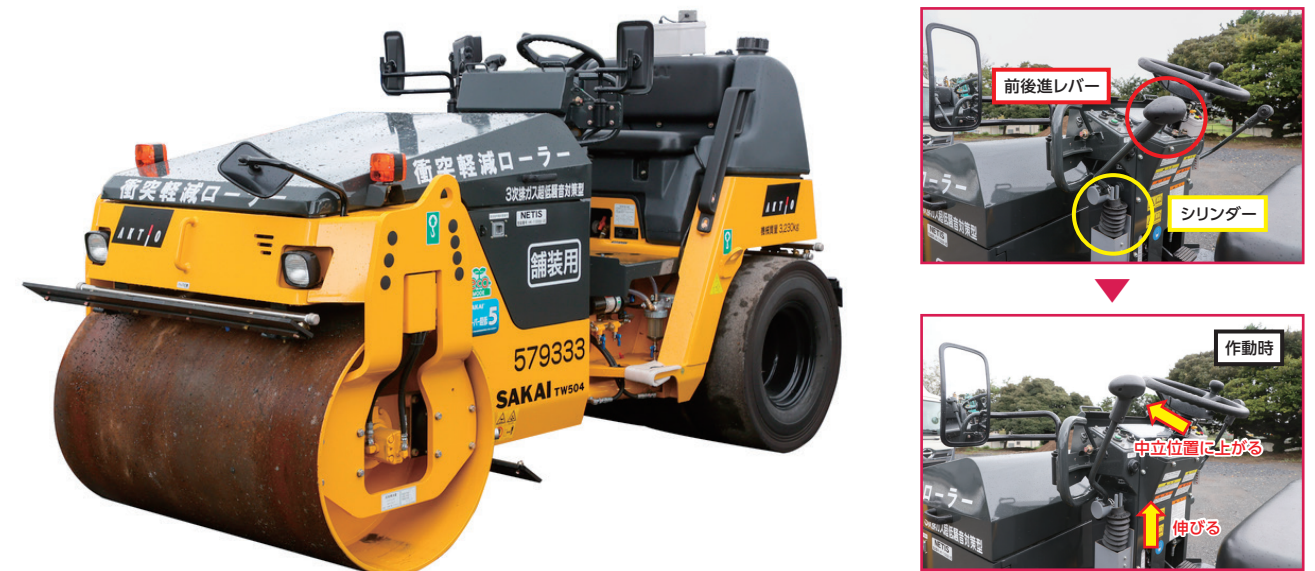
商品コード:GC3 02508 001/GC3 03608 001

商品の詳細はこちら▶



近年、工事現場ではコンバインドローラ*1による挟まれ事故が多く発生している。新車のコンバインドローラに赤外線センサーやミリ波レーダーを搭載した、衝突軽減システムの車両は存在するが、既存のローラに後付けできる衝突軽減システムは、これまで開発されていなかった。今回、AKTIOがオリジナルで開発した「後付け衝突軽減システム」は、ローラが後方へ走行する際に人を検知した場合、自動でシリンダーが伸長する装置が可動、前後進レバーを中立の位置に戻し、減速・停止をする制御装置だ。バック走行時の検知距離は8m(5mから減速開始)、検知幅は車体幅となる。現在、特許出願中だ。

※1 地面を締め固める際に用いられ、前輪が後輪、どちらかにローラ(鉄輪)またはタイヤを備えている、ロードローラの一種。



■「後付け衝突軽減システム」搭載コンバインドローラ概要

1. バック走行時にAIカメラが人のみを検知
2. 検知距離 8m(5mから減速開始)/検知幅は車体幅
3. 人を検知すると自動でシリンダーが伸長、前後進レバーを中立の位置に戻し、減速・停止(パーキングブレーキが自動作動)する
4. 検知エリア
 黄色エリア:人を検知(検知範囲8m)し、警報音と積層灯(黄色)を点灯させオペレータおよび周囲に危険を促す
 車体幅から人が外れれば警報音と積層灯(黄色)消灯
 赤色エリア:さらに人を検知し続けると前後進レバーがシリンダーにより(5mから減速開始)中立となり停止
 ブレーキを解除すれば再度前後進が可能



AIカメラ パーキングブレーキ解除ボタン モニター画面(黄色エリア/赤色エリア) 積層灯

※本装置は安全補助装置です。100%事故を防ぐものではありません。使用にあたっては従来通りの安全注意事項を必ずお守りください。

AKTIO SDGs

AKTIOのSDGsの取り組みをご紹介します。

脱炭素社会の実現に向けた先進の取り組み

地球に優しい「バイオディーゼル燃料」の活用



AKTIOは、建設業界・建設機械のSDGs対応を推進しており、2050年のカーボンニュートラル実現に向けて体制を整え、より一層お客様のCO₂削減目標達成に向けた活動のサポートを実践していく。その一環として、「バイオディーゼル燃料」を活用する専用発電機(B100対応)のレンタルを行っている。B100とは、バイオディーゼル燃料100%の意味で、軽油の代わりに燃料として使える。燃費は軽油100%と比べても遜色がなく、しかも地球に優しい。AKTIOのバイオディーゼル燃料専用発電機はエンジントラブルを防ぐ機能を備えているほか、IoTデバイスの活用で作業の効率化を推進する。発電機は現在、20/25kVA～195/220kVAまでの6機種を50台準備しており、来年度中には100台まで増やすことを目指す。



バイオディーゼル燃料専用発電機

また、三重いなベテコパーク統括工場では、廃食油からバイオディーゼル燃料を自製し、工場内で使う設備用のフォークリフト2台を専用機として稼働。年間に792kgのCO₂削減を見込んでいる。将来、設備用のフォークリフトはバッテリー式かバイオディーゼル燃料専用機に切り替えていく予定だ。

※本取り組みについて2022年8月にプレス向けセミナーも実施しました。

AKTIO ACTIVITIES

AKTIOが賛同するさまざまなプロジェクトや社会貢献活動をご紹介します。

若手の育成や世界へ挑戦する機会を創出

ビーチバレーボールを通して若者のチャレンジを応援!

AKTIOは、2018年よりビーチバレーボールへのスポーツ協賛を通じて、さまざまな大会を幅広く応援している。今年は、日本における若手のチャレンジの場を広げ、世界に飛躍していく人材の育成や挑戦する機会を作った。

大学チャンピオンを国内最高峰ツアーへ!
「アクティオワイルドカード」制度の実施

「アクティオワイルドカード」制度は、対象の大会でチャンピオンになった男子・女子の各ペア1組に「ジャパンビーチバレーボールツアー」への出場権を付与し、若手有望選手の活躍の場を広げる仕組み。AKTIOは、2022年8月に行われた学生全日本選手権で冠スポンサーとして大会を応援し、アクティオワイルドカード制度を設けた。9月に行われた「マイナビ ジャパンビーチバレーボールツアー2022」では、アクティオワイルドカードにより出場のチャンスを得た大学生ペアが予選を突破する活躍を見せた。



現役プロ選手が高校生を指導!
「AKTIO アンダーエイジ・ビーチバレーボール・アカデミー」

部活動でビーチバレーボールに取り組む高校生を対象に、現役のプロ選手が試合での戦略や戦術、コンビネーション、勝利への考え方などを実践形式で指導するイベント。AKTIOが冠協賛し、2022年8月にタチヒビーチ(東京都立川市)、11月にオールサムズビーチスポーツパーク(千葉県船橋市)で開催した。参加者からは「五輪選手に教えてもらうのは初めてで、普段やったことがない練習に取り組めてとてもためになった」「自分が課題にしていた技術はまだできるようになっていないが自信がいった」などの声が上がった。



AKTIO TOPICS. 2

西日本エリアの物流拠点「アクティオ大阪DLセンター」

2022年度グッドデザイン賞 受賞 GOOD DESIGN AWARD 2022

詳しくはこちら▶



2021年9月に大阪市住之江区南港北に開設した大阪DLセンターが、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2022年度グッドデザイン賞」を受賞した。大阪DLセンターは、自動フォークリフトや自動ラック倉庫など、最新の設備を備え、ICT・IoT技術を駆使した建設DXの具現化、および大阪・関西万博開催に向けた物流の効率化を目的とし、関西地方におけるAKTIOのレンタルティンギの中核を担っている。また、重機自動洗車機を設置し、使用する水は雨水循環方式を採用するなど、環境保全にも配慮が施された最新鋭の物流・営業・研究開発拠点だ。

グッドデザイン賞審査員からは「物流の効率化を突き詰めた結果、屋外に並ぶトラックパースがなくなり、裏がない、従来の物流施設と全く異なる表情の建物となっている。大きな庇の下に取られた開口部により、光と港湾の風景を建物内に取り込み、働く環境の質を高めている。業務の効率化を建築全体のデザインにまで昇華させている点は、特筆に値する」との高い評価をいただいた。

※「AKTIO Communication Magazine No.25」で詳しく紹介していますのでぜひご覧ください。



外観は、大らかなスケール感を持つ、大阪南港の風景と呼应するよう建物を伸びやかな水平デザインとし、物流らしいスピード感を表現。



各階に連続するバルコニーを設け、熱負荷低減などに配慮している。



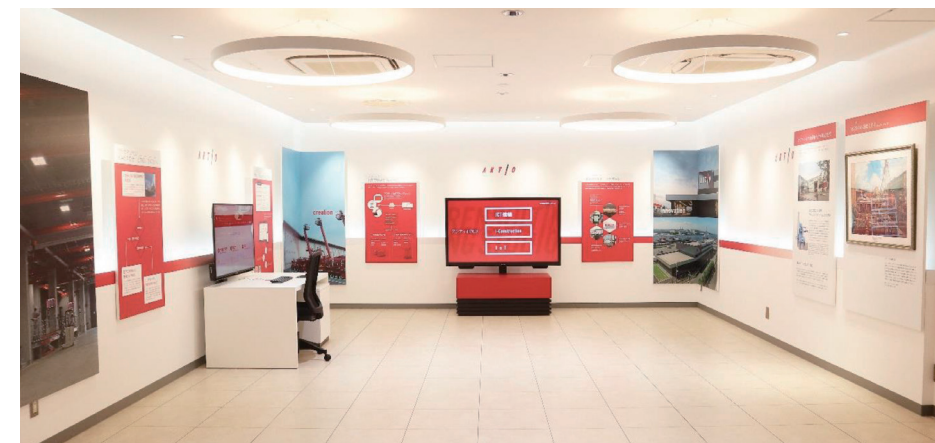
スムーズな車両動線を確保した、機械の入庫スペース。

AKTIO TOPICS. 3

「レンタルティンギ」を見て・触れて・体感できるショールーム

AKTIO Rensulting Studioに「特別展示ゾーン」を新設

AKTIOは、ビジネス向けショールーム「AKTIO Rensulting Studio」内に、2022年9月より「特別展示ゾーン」を開設。施工の自動化や重機の遠隔操作にIoTを活用して、デジタルで建設機械の情報共有を進める建設DXの事例など、AKTIOの取り組みを紹介している。さらに、「アクティオ建機レンタルWeb注文サービス」を実際に体験できるデモ機を設置。オンラインで手軽に注文、返却ができることや、リストを使って稼働状況の共有ができることなど、利便性を体感することができる。



設計から施工までのデジタル化や、機械の状況を遠隔地で一元管理できるAKTIOオリジナルのIoTデバイスなどをご紹介します。



「アクティオ建機レンタルWeb注文サービス」のスピーディな操作性を体感。

詳しくはこちら▶





今日も
ごあんぜんに
みんなを守る、みんなの安全

+ 今回のテーマ
冬季の転倒災害を防止しよう!

日頃の安全対策に役立つ情報をご紹介します!
一人ひとりがしっかりと意識を持って、安全な職場を実現していきましょう。

冬季における転倒防止対策を!

例年、冬になると転倒災害が増加してしまう傾向にあります。
慌ただしい中でも慎重な仕事を心がけ、
周りの人にもひと声かけて、職場ぐるみで安全な作業に取り組んでいきましょう。

冬季の転倒災害、気をつけるべきポイント

- 1
段差の解消
- 2
現場の乱雑さの解消
- 3
濡れ解消

～転倒リスクの高い所には対策を講じましょう～

! 転倒災害の防止

- 床面等はくぼみや段差がなく滑りにくい構造にし、凍結などで滑りやすいところは滑り止めの措置を。除雪、融雪剤の散布をして安全通路を確保しましょう。また、凍結路面などが見えにくい場所には、夜間の照明の照度を上げる等の対策を講じましょう。
- 床などの水たまりや氷は放置せず、その都度除去しましょう。水がたまりやすい所には吸湿性のあるマットを敷くなどの対策を。
- 凍結等のリスクに見合った履き物を着用しましょう。靴底がすり減っていないかも確認を。
- 「ながら歩き」をはじめとする危険行動は厳禁。凍結のおそれのある場所では転倒を意識して歩き、むやみに走らないようにしましょう。
- 建物などの入り口には雪、水分を除去するためのマットやブラシを備え、凍結の要因となる水分を持ち込まないようにしましょう。凍結のおそれのある屋内の通路、作業場に温風機を設置するのも効果的です。



冬季転倒防止チェックリスト

あなたの職場は大丈夫? 転倒リスクをチェック

- 1 積雪、凍結時に転倒のおそれのある場所は、事業場内で認識していますか
- 2 除雪用具、融雪剤、転倒防止用マットを準備していますか
- 3 段差のある箇所や滑りやすい場所などを、転倒危険場所として「見える化」していますか
- 4 ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか
- 5 「ながら歩き」や走っての移動、ポケットに手を入れたまま歩くことなどを禁止していますか
- 6 屋外通路や駐車場等における転倒防止のため、滑りにくい靴や手袋の着用を推奨していますか
- 7 降雪、凍結前に労働者に対し、転倒を予防するための教育・指導等を実施していますか
- 8 降雪、気温に関する気象情報を把握し、注意喚起を行うための体制を確保していますか



出典:長野労働局労働基準部健康安全課・各労働基準監督署[STOP!冬季労働災害] / 東京労働局・労働基準監督署[STOP!冬季の転倒災害]

編集後記

小さい頃からはちみつが苦手で、なんとなく食べるのを遠ざけていました。ところが、「毎日のはちみつを食べると疲労回復、腸内環境を整える効果も期待できる」と友達に勧められ、「毎食、はちみつ生活」を始めてみました。はちみつにはビタミンやミネラルをはじめとする栄養素が豊富で、花の種類にもよりますが約300種類以上にもおよぶそうです。毎日摂取すると美肌効果やダイエット効果、便秘改善、免疫力アップ、抗炎症作用、脳の活性化などが期待できるいいこと尽くしのスーパーフード。なぜ今まで食べなかったのかと後悔をしまくりました。クセのあるものだと思いきや長続きしないと思いきや、すっきりして

食べやすいと聞いた「アカシアはちみつ」から試してみました。ヨーグルトやコーヒー・紅茶に入れていますが、とても美味しく、ストレスなく続けられています。最近では、会社や外出先でも使えるように個包装のはちみつを探して購入しています。1食に2.5～5グラムほど食べているのですが、1日大さじ1～2程度は食べても大丈夫のようです。食べ始めてから疲労の回復が早い気がするし、便秘も改善されてきているように思います。また、夜もよく眠れるようになった気がします。ご興味ある方は、「毎食、はちみつ生活」、試してみたいかがでしょうか。

広報部 成澤



今号の表紙写真

社会の発展を支えるクレーンが活躍する現場の写真を今号の表紙にしました。お客様の要望に応えるため、オリジナル商品や新たな開発に積極的に取り組むAKTIOのクレーン事業部。その成り立ちと今後について、ぜひ今号の特集をご覧ください。